隔月誌（平成30年9月発行）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

かなえるレター

5th ANNIVERSARY おかげさまで5周年

KANAERU LETTER

2018 vol.5 33号



今号の表紙

「フラワーアート」

富田林市　和田松子 様

まるで生花のような質感と発色。
ご自身で布を一枚一枚、染めて作られています。
いつも新しい作品を拝見するのが楽しみです。

担当: 作業療法士　楠本

かなえる TOPIC-01

支援センターねぎぼうずで「健康講座」を開催

株式会社かなえるリンク
広報課 課長　川口 智之

大阪市大正区にある支援センターねぎぼうずさま（生活介護事業）よりご依頼いただき、知的障がいや発達障がいのある方を対象に月一回、同所で健康講座を開催しています。

『素敵に生きる』をコンセプトに、ねぎぼうずさまでは、ご利用者の健康維持や増進、歩き方や姿勢を正すことを目的とした取り組みをこれまで積極的に行って来られました。しかし、効果や変化が見られないとうことから、専門的な知識と技術を持つ当ステーションの作業療法士にご相談いただきました。健康講座では「楽しい運動」を日中の活動に取り入れたり、専門職の視点から継続的に取り組める運動メニューを提案して実施しています。

「ご利用者が元気に素敵に生きられるように」そんな、ねぎぼうずさまの想いに、引き続き専門職として協力させていただければと思っています。





2本のポールを使った
ノルディックウォーキングの様子

かなえる TOPIC-02

「認知症サポーター養成講座」に参加

株式会社かなえるリンク
広報課 課長　川口 智之

平成30年7月23日、大阪市西区の認知症キャラバン・メイト連絡会より「認知症サポーター養成講座」の講師依頼をいただき、当ステーションよりキャラバン・メイトである作業療法士の下川が、大阪トヨペット株式会社さまのスタッフを対象に、認知症についての講義をさせていただきました。また、大阪市西区の社会福祉協議会より、福祉教育として「車いす」、「高齢者」、「視野狭窄」の体験会も合わせて行われました。

大阪トヨペット株式会社さまでは、新人教育の一環として、認知症への知識と理解を深め、本人とその家族に心をこめて接していけるようにと、毎年「認知症サポーター養成講座」の受講に取り組まれています。

当ステーションでは、今後もリハビリ専門職の視点から、企業や地域の活動や取り組みのニーズに応じた支援をさせていただきたいと思っています。



認知症サポーター養成講座の様子



大阪市西区社会福祉協議会による
車椅子体験の様子

朝夕はすっかり涼しく過ごしやすい季節になってきました。皆さまいかがお過ごしでしょうか？「ご利用者とともに」でご紹介した垣内田さま。写真の撮影データはパソコンで管理されており、その数なんと10万枚以上。その中からお気に入りの写真、「花にとまるアゲハ蝶」や「キジの夫婦」をお借りして記事内で掲載させていただきました。皆さまも、これからの季節、外出中にお気に入りの写真が撮れましたら、是非かなえるレターにご投稿下さい！お待ちしています。



編集者　広報課 川口 智之

かなえるリハビリ訪問看護ステーション
〒550-0015
大阪府大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室
TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数（H30/8/20時点）

介護保険…	888名
医療保険…	453名
その他　…	8名
計	1,349名（社員数109名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野
〒586-0048
大阪府河内長野市
三日市町240-1
三日市グリーンハイツ103号室
TEL 0721-63-3355
FAX 0721-63-3377

ご利用者数（H30/8/20時点）

介護保険…	155名
医療保険…	45名
その他　…	1名
計	201名（社員数19名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都
〒604-8375
京都府京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室
TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数（H30/8/20時点）

介護保険…	299名
医療保険…	65名
その他　…	0名
計	364名（社員数26名）

ご利用者からの”投稿募集”



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえるリンク　検索

リハビリ 豆知識

指体操は脳トレにいい！

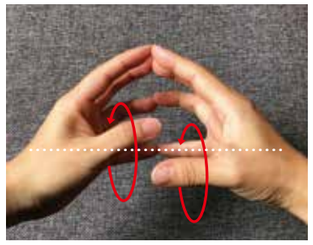
指体操が脳のトレーニングにいいのはなぜだと思いますか？

それは指の感覚・運動の神経が脳に広く分布しているため、指は細かな動きができ、指を動かすことで脳により多くの刺激を与えてくれるからなんです。そこで簡単な指体操を紹介します。



作業療法士
下川 更紗（しもかわ さらさ）

指回し体操



両手の指先を合わせ、指先が当たらないように**親指から順番に指を回していきましょう。**

指立て体操



①右手は親指を、左手は小指を立てます。
「はいっ！」とのかけ声で同時に
②右手は小指、左手は親指を立てます。
慣れてきたら、少しずつスピードをあげてみてください。

ご利用者「投稿コーナー」



作品 「趣味の園芸」

訪問時に花や植物の名前を教えていただき、私も少しずつですが覚えてきました。
作業していると食事などを忘れるくらい没頭されます。
訪問時も直前まで庭におられることも…笑。
元気に作業する為にも、休憩はしっかり取って下さいね。 ∞ **担当: 言語聴覚士　渡邊**

河内長野市
80代 男性
岡橋 様


作業台・作業道具


手作りの鳥小屋


ブルーベリー


夏みかん


バラ
（イングリットバークマン）

※あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?
詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

— ご利用者とともに —

ご利用者の「ご希望」と「生活状況」に合わせたリハビリ



今回、ご紹介する垣内田（かいとだ）さま（70代男性）。
病前より活動的な方であり、旅行先や各地の木々、草花などを写真に収めることがご趣味。
機械関係にも詳しく、ご自身で撮影した10万枚にも及ぶ写真をパソコンで管理されています。

∞「余命数週間」から「驚異的な回復」

昨年、特発性間質性肺炎を発症。その後、肺結核を併発され、垣内田さまは余命数週間の宣告を受けました。

しかし、医師も驚くほどの驚異的な回復で肺結核の症状は落ち着き、生活動作も自立レベルに達して、今年の春に退院されました。在宅では入浴と移動手段に不安があることから訪問看護と訪問リハビリのサービスを開始しました。

∞「日常生活」と「在宅酸素療法」

順調な回復がみられましたが、日常生活での酸素吸入のため酸素濃縮装置の使用を余儀なくされた垣内田さま。自宅での移動時に装置のホースが絡まったり、慣れるまでに少し時間がかかりました。

外出時、持ち運び用の酸素ボンベと酸素濃度を測定する機械を常備されており、リハビリでもその都度測定して、適切な休憩と全身の筋力トレーニングを行っています。

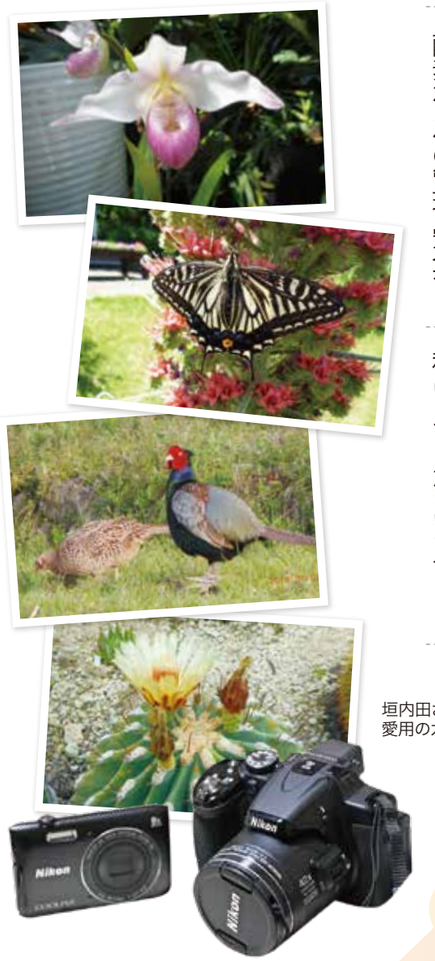
∞「趣味」と「リハビリ」

旅行先や各地の木々、草花などを写真に収めることが趣味の垣内田さま。「写真を撮りに行きたい」というのが退院前からのご希望でした。そこで、外出時の安全な移動を目指し、杖歩行訓練や適切な酸素ボンベの管理、安全で車通りの少ない経路の確認などを行いました。

現在、「脚が弱くなってきたし、リハビリを兼ねて健康のために毎日、文化園に行ってます」と、ご自宅の近くにある大阪府立花の文化園に通い、花の写真を撮ってこられています。毎日通われることで、草花にとても詳しくなられました。屋外での歩行訓練時には、「これはウツボカズラ、カトレア、金魚草、サルビア、コーネリア、この季節に綺麗なのはサボテンの花」と楽しそうにその季節の花の説明を私にしてくださいます。

今後も垣内田さまの意思を尊重し、趣味などで生活に張りがもてるように、生活状況に合わせたリハビリ、環境設定や福祉用具導入などを適宜行うようにしていきます。

（作業療法士　和正）



垣内田さま撮影の写真と愛用のカメラ

▸H29.9月	特発性間質性肺炎を発症
▸H29.10月	肺結核を併発
▸H30.3月	退院
▸H30.3月	訪問看護・リハビリを開始